



## 東日本大震災から11年 大川小で犠牲の遺族が語り部活動 石巻

東日本大震災の発生からまもなく11年です。

2022年3月7日 19時02分

東日本大震災

津波で児童と教職員合わせて84人が犠牲となった宮城県石巻市の大川小学校で次女を亡くした男性が、大阪から訪れた高校生に校舎で語り部活動を行いました。

語り部活動を行ったのは、大川小学校で当時6年生だった次女のみずほさんを亡くした、元中学校教諭の佐藤敏郎さんです。

7日は大阪から高校生ら70人が震災遺構となっている校舎を訪れ、花を手向けて児童たちに祈りをささげたあと、佐藤さんの話を聞きました。

佐藤さんはまず、震災前の小学校は楽しい学びやだったことを紹介したあと、その校舎の2階の天井まで津波が押し寄せ、今も泥が残っていることなどを案内しながら説明しました。

続いて学校の裏山に移動し、佐藤さんは「子どもたちの命はこの山に登っていれば救えました。災害時には適切な判断や行動が大切で、そのための備えや訓練を真剣にしなければいけない」と生徒たちに呼びかけました。

話を聞いた女子生徒は「この場所では想像を絶するようなことがあったのだと思いました。大阪でも4年前に大きな地震があったので、今後の災害のために地域の人たちと連携しながら、自分で考えて行動できるようにしたいです」と話していました。

佐藤さんは「震災の話は単に防災の話として聞くのではなく、自分の生活や身のまわりの大切な人を想像しながら、自分事として考えてほしい」と話していました。